

参院選の結果について (要旨)

7月11日 日本共産党中央委員会常任幹部会

7月10日投票開票された参議院選挙で、日本共産党にご支持をいただいた有権者のみなさん、酷暑のもとで奮闘していただいた支持者、後援会員、サポーター、党員のみなさんに心からの感謝を申し上げます。

(1) 日本共産党は、選挙区選挙では、唯一の現職区だった東京選挙区で、山添拓候補の再選をかちとることができまし



た。宝の議席を守り抜いたことは、大きな喜びです。

沖縄選挙区で、大激戦を制して「オール沖縄」のイハ洋一候補の議席を守り抜くことができたことは、沖縄の今後を展望しても重要な勝利です。

(2) 比例代表選挙で、日本共産党は、「650万票、10%以上、5議席絶対確保」を目標にしたがい、361万8千票、得票率6・8%にとどまり、改選5議席から3議席への後退という、たいへんに残念な結果となりました。常任幹部会として、こうした結果となったことに対して、責任を深く痛感しています。

常任幹部会の指導責任の問題として、次の2つの点を率直にのべたいと思います。

一つは、全国のみなさんに大奮闘していただき

ましたが、勝利に必要な規模と速度に運動を広げ切るうえで指導的インシアチブを十分に果たせなかったということです。

いま一つは、その根本にある自力をつける取り組みです。私たちは、議員拡大でも、「しんぶん赤旗」読者拡大でも、前回参院選時の回復・突破を目標に掲げて奮闘しました。しかし、自力をつけるとりくみは、質量ともに、その立ち遅れを打開できていません。

私たちは、今回の参院選の最大の教訓は、ここにあると考えています。どうやってこの弱点を打開していくか。全党のみなさんの知恵と経験に学びたいと思います。強く大きな党をつくるために、新たな決意で全力をつくします。

選挙戦のなかで、若い世代のみなさんが、大きな力を発揮し、生き生き

安倍元首相 銃撃され死亡 党は「テロに断固抗議」



8日午前11時半ごろ、奈良市の大和西大寺駅前演説中だった自民党の安倍元首相が銃撃され死亡する事件が起きました。選挙期間中という大事な時期に、民主主義の根底を揺るがした事件で衝撃が走りました。日本共産党の志位和夫委員長は、「テロによる言論の自由を暴力で封殺する、あらゆるテロ行為を許さない」と述べました。その談話を出しました。

民主主義にとって重要な時期に、卑劣な蛮行が起きたことは絶対に許すことのできません。日本共産党は、言論の自由を暴力で封殺する、あらゆるテロ行為を許さない社会をつくるために力を尽くすものです。1. 私は安倍晋三氏とは、政治的立場を異にしており、同年に生まれ、同時代に生きておられることには、敬意を表します。回を願って、ご逝去の意をこめてお伝えいたします。2. 安倍晋三氏とは、政治的立場を異にしており、同年に生まれ、同時代に生きておられることには、敬意を表します。回を願って、ご逝去の意をこめてお伝えいたします。

安倍晋三首相が、演説中に銃撃を受け、ご逝去されたことには、心からの哀悼の意を表します。回を願って、ご逝去の意をこめてお伝えいたします。1. 言論を暴力で封殺する、あらゆるテロ行為を許さない社会をつくるために力を尽くすものです。2. 私は安倍晋三氏とは、政治的立場を異にしており、同年に生まれ、同時代に生きておられることには、敬意を表します。回を願って、ご逝去の意をこめてお伝えいたします。

と活動に参加したことは大きな希望です。

全国のみなさん。今回の悔しい結果を新たなバネとして、どんな情勢のもとでも前進できる質量ともに強い党をつくらうではありませんか。

(3) 選挙戦での日本共産党の政策的な訴えは、国民の願いに立脚したものであり、自・公・維など平和と暮らしを壊す

青年後援会がリレートーク

香川県の青年後援会は3日、候補者カーの運行を青年のみで行い市中を街頭宣伝しました。青年の声を道行く人の中には手を振り、振り返る人も多く、道すがら拍手を送る人の姿がありました。

青年がそれぞれの思いをリレートークし、学生

(21)は「なぜ、一部の政党は『核共有』をしようとするのでしょうか。77年前の戦争から何も学んでいない。やられたらやり返せの理論では、悲劇が繰り返されるだけだ」

「平和外交、核兵器禁止条約への批准を政策に掲げる日本共産党を推して

いる」と訴えました。会社員の男性(25)は、「今の給料では、家庭を養えない。少しでも給料を上げるには、出世をするか残業をするかしかない。毎日、鬼のように残業をして、どうやって子育てを白と言うのでしょうか」と、切実な思いを



語り、党の最低賃金1500円、賃上げなどの政

いざ、ふたたび国会へ

開票日の長い夜。NHKが私に当確を打ったのは、もう白々と明けた午前6時のことでした。願いを託して頂いたみなさんのご支援、猛暑のなか党支部と後援会のみなさんの猛奮闘に心か



らの感謝しかありません。日本中の願いが詰まった重たい議席です。かけがえのない大門さん、武田さんの議席を失ってしまった痛恨の涙を堪え、東京で激戦を制した山添拓さん、オール沖縄のイハ洋一さんと共に、力一杯3期目6年間の国会に臨みたいと思います。みなさん、ご一緒に草の根から声をあげ、政治を動かしていこうではありませんか。

衆参両院で改憲4党が3分の2以上を占めた結果に、「改憲が現実的な政治課題になった」「スケジュール感をもって中身のすり合わせを」と評論する向きがありますが、私はそうは思いません。ロシア・プーチン政権のウクライナ侵略に「やっばり平和こそ」という願いが広がっています。画期的な成功をおさ

めた核兵器禁止条約第一回締約国会議など「核兵器のない世界へ」の国際世論も広がっています。

憲法は国民のもので、国民が求めているのに権力者が上から「改憲ありき」で「戦争する国」への最も危険な道押し付けようとするところに改憲派の矛盾があります。

改憲大軍拡をやめ平和外交の日本へ。消費税減税、最賃1500円、暮らせる年金でくらしに希望を。どうぞあなたの声を聞かせて下さい。憲法こそ希望。今こそ弁護士。全力を尽くします。

南風 にひそうへい

9条守る願い共産党に 小池書記局長

策を紹介しました。フリーランスで働く男性(31)は「ブラック校則廃絶の流れをつくったのは私たち青年です。小さい力でも、たった1票でも変化は起こりますと力を込めました。」

日本共産党の小池晃書記局長は選挙期間中の6月28日、高松市や徳島市で街頭演説し、参院選は「憲法9条がかかった歴史を左右する大事な選挙」とのべ、比例5議席の絶対勝利を呼びかけました。

香川選挙区候補としてたかかった石田真優氏の必勝を訴えました。梅雨明け早々の厳しい暑さの中、信号待ちの間にじっと聞く人々や熱心にうなずく人の姿がありました。小池氏は、自民、維新両党などによるウクライナ危機に乗じた軍拡の大合唱に警鐘を鳴らし、岸田文雄首相が主要7カ国首脳会議で5年以内の防衛力の抜本的強化、軍事費の相当な増額を表明し

また、「9条を守る選挙でもある。戦争への道を止めよう、9条守ろうの願いを、反戦平和を貫いて100年の共産党に託して下さい」と力いっぱい呼びかけました。